

# 技術医療開発部大隊 Laboratory

医療部各小隊：0301～0314  
技術部開発課各小隊：0401～0409  
技術部管理課各小隊：0411～0413

通称「ラボラトリ」。

ランサーズと並ぶ連合宇宙軍の活動の要。医療活動の他に孤児院運営も行う医療部と、デバイスや宇宙艦などの開発と運用を受け持つ技術部開発課、幻界門管理に関わる技術部管理課に分かれる。

## 医療部中隊 Medical Company

ラボラトリのうち主に医療行為を担当する部署。

直接的な治療行為の他、シルバーコア/ディアプロの研究と保護、自治区内の孤児院の運営も行っている。



### 2 蛍田 弥生 Yayoi HOTARUDA

生年月日：2013年3月21日(本編開始時28歳)  
身長：158cm 体重：50kg 血液型：A型  
種族：ヒューマン  
ソーサラータイプ：ホワイトソーサラー

帝都大学医学部卒で軍事部2期生と同期に当たる。ランサーズや長官府に随時最前線で直接医療行為を行う第2小隊(通称【遊撃医療班】または【蛍田隊】)隊長。本編開始時点では少佐。

元ランサーズ第4部隊所属。ランサーズに随時する医療部隊の必要性を提唱し続け、実現の暁には自らがそのトップに立った。創設時は医療部ラボと別枠で扱われていたが、その実績と重要性を考慮され、新長官府による組織の再編に伴い医療部に次ぐ第2小隊を冠するようになる。

結構強力なホワイトソーサラーだが、魔導医療はあまり好まず必要最低限に留めている。医師としての専門は心療内科であり、隊員たちのカウンセリングを行うチームのリーダー格でもある。真面目だが慈悲深く、柔軟性とユーモアのある大らかな性格で、部署の内外を問わず慕われている。

### 4 都築 正宗 Masamune TSUZUKI

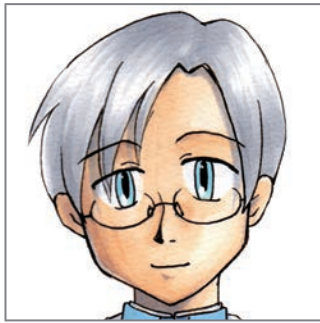
第4小隊に当たる【都築孤児院】の院長。本編開始時点では少将。現在の極東連隊組織においては古参の部類に入るが、医療部ラボ一筋故に長官府吏課のいざごとは無縁で、またラボでも孤児院運営とインフラ整備に没頭していた為、発言力は然程強くない。昨今は孤児院の数も減少傾向にあり都築孤児院も本来の役目から予備役研修所にシフトしつつあるが、そのことについては喜ばしく思っている模様。良くも悪くも平凡で温厚な人物。

#### Tips 「孤児院」

ラボラトリ(軍内とは限らない)でクローンとして生まれたが研究対象から外れた子や戦闘に巻き込まれて親を失った子などを引き取り養育している組織。連合宇宙軍においては医療部中隊所属の小隊として扱われる。引き取った子を単に育てているだけのところもあれば、継続して研究や訓練を行うところもある。尚現在は、軍内ラボ生まれの子について研究対象外であることを理由に孤児院にその養育を押し付けることは禁止となっている。

### 6 柘植 愛名 Mana TSUGE

第6小隊【柘植ラボ】室長の娘。本編開始時大尉。後にラボの権限を父から剥奪した際に少佐。柘植ラボはかつて後天的にスーパーストレンジ能力を付与する研究をしていた。新体制に移行した際に禁止となった為に人為SSの体調管理を主な題目にしていたが、秘密裏に研究は続けており、しばしば発生したソーサラーやスーパーストレンジが消息不明になる事件にも絡んでいた。その際に研究材料になった片桐大悟と結託して、父の権限剥奪と研究素体の開放に尽力することになる。



### 8 流山 修 Shu NAGAREYAMA

生年月日：2019年9月9日(本編開始時21歳)  
身長：166cm 体重：52kg 血液型：A型  
種族：シルバーコア  
ソーサラータイプ：デバイスワーカー

第8小隊【日本薬師ラボ】現室長代理。本来であれば【流山ラボ】と呼ばれるべきであるが、前室長・本薬師の功績を称え理念を掲げる為に敢えてその名を冠している。本編開始時点では特務大尉(室長代理となる為の特例措置)。

区分上デバイスワーカーとなっているが、彼のデバイスは能力の増強や付与を目的としたものではない。適合性の研究をするためにコアを換装式にしており、それを保持する無機型デバイスを取り付けている(彼自身の能力は概ね【錬気阻害】型のブルーソーサラー)。そういった無茶はコア不適合型のディアプロである幼馴染の鴉田克海、およびコアを持ってない多くのディアプロに向けた拒絶反応の出にくいコアを作り出すという目的に支えられている。

人当たりが良く、穏やかで優しい性格だが芯は非常に強く、初志を曲げない鋼鉄の精神力を持つ。敬愛する本薬師の意思を全面的に継いでおり、医療部ラボの良心と称される。性染色体トリソミー(XXY型)であり、表面的な性格も相俟って全体的に中性的で華奢な印象。

### 8 本薬師 悟 Satoru HON-YAKUSHI

生年月日：1995年12月30日(本編開始時45歳)  
種族：ヒューマン  
ソーサラータイプ：デバイスワーカー

第8ラボ前室長。元より現在いるクローンの生命維持を目的とした研究に注力してきたラボであったが、悪名高き総合企業【G-Spread】のラボで生まれた子供たちを数多く診るうちにもっと直接的に関わる必要を覚え、軍を去りG-Spreadの研究者として内側からラボのクローンを支える立場となる。以後は同様にG-Spreadのラボの在り方に疑問を呈するネットワーク管理部と協力して事に当たっている。娘が賢頭高校に通っている。

#### Special 「主な孤児院」

極東連隊の「孤児院」のうち第4小隊【都築孤児院】と第11小隊【柘ラボ】は特に大規模で、その出身者は多い。主に都築孤児院は戦災孤児、柘ラボは他のラボ生まれのクローンを引き取り育てている。現在は新たなクローンを生み出すことおよび研究対象を外れたクローンの生育を孤児院に依頼することは禁じられている為、軍内の他のラボから柘ラボに新たなクローンが来ることは無いが、今後も戦災孤児や軍外出身のクローンの保護は行い、また生命維持とコアの管理を中心にラボとしての活動は続けられる予定である(名称が柘「ラボ」なのはその為)。

欧州連隊の代表的な孤児院の役割を持つラボは【光の庭】と【メルローズラボ】で、立ち位置は概ね都築孤児院と柘ラボのそれに近い。勿論これら以外にも、小規模ながら孤児やクローンの養育を引き受けているラボは幾つかある。



# 栢 憲彰

Kensho  
KASHIWA

第11小隊(栢ラボ)室長、医療部中隊長。本編開始時点では准将。栢ラボが孤児院として確立する前は医療部本部で各ラボの人員と予算に関する調整を行っていた関係で他ラボに対して融通が利く。優しさ故の厳しさをはっきり持った人物で、ラボの子供たちに「栢のおやっさん」と呼ばれ慕われている。それは子供たちの殆どが自立する年齢になった今でも変わらず、栢ラボは孤児院及びラボラトリとしての機能が形骸化して子供たちの集会所兼ソーサラーの休息所として親しまれている。

## Special

### 「栢ラボの子供たち」

栢ラボにはクローン生成や局地災害の頻発した時期に生まれた子供(主に2020~2025年に掛けて)が集中して保護されている。多くは成長に伴い他の家に引き取られているが、栢の家(とラボ生達と呼んでいる)にそのまま居続けている者もある。そのまま栢姓を名乗っている者は戸籍および市民台帳においても栢憲彰の養子として扱われている。本編中でそれなりに活躍が見られるのはランサーズ第3部隊の藤原瞭人、第4部隊の栢洵士、帝都大付属高校在学中の奇稲田尚起、賢頭高校在学中の粟九郎など。

## 技術部開発課中隊

Mechanical Company

ラボラトリのうち主に機械的なものの開発と運用を担当する。デバイスや宇宙艦など戦局を左右するものに深く関わっている。



# 坂本真隆

Masataka  
SAKAMOTO

生年月日:2011年1月10日(本編開始時30歳)  
身長:174cm 体重:59kg 血液型:A型  
種族:アンヘル  
ソーサラータイプ:ブラックソーサラー

主に既にあるデバイスの機能拡張と最適化を行っている技術部開発課第3ラボ室長。技術部中隊長、極東連隊技術尚書でもある。本編開始時点では准将。帝都大学工学部出身。軍事部の件の連中の先輩に当たる。デバイスに限らず機器全般に鋭い閃きと器用さを持つ腕利きのエンジニアだが、弟の飛鳥が現在働いている【G-Spread】の動向がどうにもききな臭いのを察し、ある時期からデバイスに特化しつつある。但し彼自身は(なぜか)ブラックソーサラーなので【具現化】【錬気】の応用である武装デバイスの扱いは若干不得手(現状美宴と第1ラボに丸投げになっている)で、主に増幅系デバイスの制作と調整を受け持っている。大らかで面倒見がよく、しばしば帳簿を頭脳派にしたようなイメージを持たれ、それは強ち間違っていない。愛称「もっさん」。【まほら】のアンヘル。天使名オークッド。積極的な活動はしていないが、同じ【まほら】のウィロー(柳屋武具店店主)を技師としての師匠としている。



# 金 美晏

Mian  
KIM

生年月日:2018年5月9日(本編開始時22歳)  
身長:151cm 体重:45kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:ブルーソーサラー

第3ラボ所属の物理担当エンジニア。無茶振りに強く妙に用意周到なところがあり、如何なる状況でも「こんなこともあるかと!」と最善とまでは行かないが適解を持ち出してくるある種の閃きがある。本編開始時点では中尉。能力的にはブルーソーサラーだがほぼデバイスワーカーと言って差し支えない程度には素の状態での魔導力発露が鈍い。デバイスの有無に拘らず【具現化(兵装)】に特化しており、武装型デバイスの調整と能率化に非凡な才能を見せる。日頃は自ら開発したスパナ型兵装デバイスを携帯している。ちなみに見た目も素材も大体スパナなので魔導力を付加しなくても割ればぶつに痛い。小柄だが身振りが大仰で、べったんこな体形との相乗効果で幼く見られがち(体形については本人も若干気にしている)。適当そうに見えるが意外と常識人である。健気で根気強い部分もあり、坂本にはよく評価されている。以前絢土がいた韓国支局とは関係が無く、生まれも育ちも七領市である。食べ物の好き嫌いが多く特に辛い物が苦手。



# 榊原 基

Motoi  
SAKAKIBARA

生年月日:2017年11月16日(本編開始時23歳)  
身長:172cm 体重:57kg 血液型:B型  
種族:アンヘル  
ソーサラータイプ:サーキットランサー

第3ラボ所属の電脳担当エンジニア。とはいえデバイス調整が主任務の第3ラボが電脳系の技能を組み込むようになったのは第7ラボで電脳具現化型デバイスの開発が進められて以降であり、それ以前から榊原が第3ラボに所属していたのは独特の空気を読まない性格に拠るものである。本編開始時点では少尉。元々人付き合いが希薄且つそれに対して一切の危機感を持ってない人物だが、長きに亘り「空気を読「め」ない「振り」」を意図的に続けていた所為か本来の自分の性格がよくわからなくなっているらしい。派閥内部が真っ二つに割れつつある【しろがね】の、態度が宇宙軍寄りのグループに属するエージェントで、アンヘルとしては結構希少なサーキットランサー。天使名ペリウィングル。情報の取得と精査に長け、本当はラボよりもランサーズか長官府に向いているのでは、というのは散々本人も言われ尽くしている。果てしなく脳髄に満ちているが坂本に対しては忠実且つ素直。

## Tips 「デバイス」

魔導力を用いて何らかの機能を発動する道具全般を指す(広義ではフロートや魔導式宇宙艦もこの範疇である)。潜在魔導力はあるが任意に発露できない者の補助が主な役割だが、能率よく特定の機能を魔導力で扱う為に用いられることもある。判り易いところでは【具現化兵装】に近い機能を有するもの、応用的には人工臓器を魔導力で制御しているものなど、その機能は様々である。



# 常陸このみ

Konomi  
HITACHI

生年月日:2013年7月27日(本編開始時27歳)  
身長:160cm 体重:52kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:サーキットランサー

帝都大軍事部3期生。電脳系統技能の系統化と能率化を主な研究項目としている第4ラボの所属。本編開始時点では大尉。一部のけげ物じみたサーキットランサー連中と比べると能力自体は控えめだが、どんな劣悪な状況でも粘り強く処理を行い逆転を持ち込む不屈の根性と裏を突く直感を持つ。また万事にノリが大雑把かつ謎の自信に満ちており、どう見ても拙い状態でも口を開けば「大丈夫だ、問題ない」……寧ろ常陸に限らず全般的に極東連隊技術部のラボのエンジニアはこんなノリなので気にしてはいけない。アクティブなインドア派。日かなその筋の店やイベントに出向いている。性的的には徹底的なギーク気質で、特に無駄に凝り性なところが目立つ。開発したソフトウェアに見栄えや趣味で不要な機能を勝手に搭載して怒られることも割とよくある。コミュ障とは程遠い明るさだが言うことが尽くマニアックで常人が付いて行けない為、大抵同属性の人間と一緒にいる。同期生・佃真由美、第7ラボ所属の受付嬢・四方田詳子とは盟友同士でありよくつるんでいる。





## 南條博忠 Hirotada NANJO

生年月日:2012年8月29日(本編開始時28歳)  
身長:166cm 体重:57kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:サーキットランサー

帝都大軍事部2期生。魔導式宇宙艦の開発と改良に尽力する第5ラボ室長。本編開始時点では中佐。後の移民活動において最重要となる魔導機関式宇宙艦開発における最大功労者のひとり。特に魔導機関の駆動部に関して優れた直感を持ち、推論と実験結果のぶれが少なく当初の予定から大幅に期間を短縮した。高校在学時から「魔導力を動力源とするモーター」の構想を持っており独自に研究をしていた。最終的にその構想は宇宙艦という形になり、帝都大学に入る際はインビテーションで好成績だったことと運用まで視野に入れていた為工学部ではなく軍事部を選択する。そのインビテーションで後の同志・芥悠樹と出会い意気投合し、芥が技術方面へ進む切欠となったことは今も語り草になっている。有言実行型。広げた大風呂敷を自ら畳みに行くスタイルで、周囲も彼が力説するならやらせてみて大丈夫なのでは、という安心感を持っている。実直そうに見えるが軟派で気障な部分が多々あり、芥曰く「これで結構モテるんですよ」。そこそこ処理能力の高いサーキットランサーで、ブルーソーサラー能力を併せ持つ。



## 芥悠樹 Yuuki AKUTA

生年月日:2012年6月26日(本編開始時28歳)  
身長:177cm 体重:63kg 血液型:A型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:ブルーソーサラー

帝都大軍事部2期生。技術部開発課第5ラボ所属。室長の南條と共に大学時代から宇宙艦の開発に関わる。本編開始時点では少佐。後の移民活動において最重要となる魔導機関式宇宙艦開発における二大功労者のもうひとり。南條とは違い高校時点では技術面での適性も興味もまるで無かったが、インビテーションにて出会った南條の夢と野望に興味を持ち、インビテーションでの好成績を受けてそのまま帝都大軍事部へ進む。大学では通信科で、試みに始めた物理的な機構設計に想定外の才覚を現し、以後は技術畑の人間となる。実際の機構製作は南條と蒼暁高校出身のチームが先導して当たったが、設計においては芥の存在が開発期間短縮に大いに貢献したとされる。言動にそういう面がある訳ではないが何か「猫っぽい外見」と言われている。本人曰く「何かみんなよく煮干しをくれるんですよ」。性格面は基本的にポジティブでマイペース。但し猫のように気紛れ……ではなく結構律儀である。基本的な能力を多少使える程度のブルーソーサラー。



## 田之倉文明 Fumiaki TANOKURA

生年月日:2012年5月16日(本編開始時28歳)  
身長:186cm 体重:73kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:ブルーソーサラー

帝都大軍事部2期生。技術部開発課第7ラボ室長。元は医療部のラボで種族と魔導力に関わる研究をしていたが後に坂ラボを経て独立。現在は電脳系能力を具現化に応用するデバイスの研究をしている。本編開始時点では少佐。愛称「ブンメイ」。医療部時代、かつて絶滅したとされていた【緋鯨】という種族の生き残りをラボが保護し、その生体保全を試みていたが最終的には叶わず、全個体が「生物としての死」に至る。但しこの緋鯨という種族はフォージとウィルスの特性を併せ持つ種族であり、個体データの保管は辛うじて成功し、現在も電脳領域に住み着いている。そのうちの一個体に懐かれており、また彼女の具現化を執念で実現し、後の「サーキットランサー能力を具現化に転化させるデバイス」の開発への足掛かりとなっている。性格的には純朴で質実。冗談は解するものの周りに揶揄われることが多い。ヒトとしての経験が浅い故にすべてが直球な緋鯨のフェリスには若干気圧され気味でもある。恵まれた体格の割に頭脳派且つインドア派で運動神経にはやや問題アリ。ソーサラーとしては極一般的【具現化】系統のブルーソーサラー。大学時代に防衛科だったのはこの能力に因る。



## 四方田詳子 Shoko YOMODA

生年月日:2016年4月4日(本編開始時24歳)  
身長:154cm 体重:49kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:ブルーソーサラー

極東連隊本部の受付嬢の左(声と態度がでかい)。帝都大軍事部6期生。在学中からラボで実務と訓練に勤しみ、現在は技術部開発課第7ラボ所属となっている。本編開始時特務中尉。普段は受付嬢として勤務し、本部を訪れた者の素性を迅速に検索する役目をしている。表情自体は目まぐるしく変わるが真意を悟らせない「笑顔の仮面」が極めて強固で、心理的な不安や焦りを一切表情に出すことなく対応が出来る為、受付での探り役に抜擢されている。区分上は【具現化】優勢のブルーソーサラーだが、サーキットランサー能力も実務充分な程度に持ち合わせており、第7ラボの研究にも受付での対応業務にも大いに発揮されている。常陸のみと仲が良くコアな会話やマニアな店に日々付き合っているが、四方田の方が輪を掛けてオタク臭い。良くも悪くも行動全般がそっち方面に偏っており、グッズ類を買い漁ったり身に付けていることも多い。性格自体は明朗だが腹の裡が読み辛い。井桁型のパレットとお揃いカラーの眼鏡がトレードマーク。



## 古城成機 Naruki KOJO

生年月日:2013年8月16日(本編開始時27歳)  
身長:174cm 体重:60kg 血液型:O型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:ブルーソーサラー

帝都大軍事部3期生。元は叢雲ラボ(技術部開発課第2ラボ)の所属。ラボ壊滅後はフリーのエンジニアとして技術部開発課に所属。本編開始時点では大尉。同期生らには「こじょ」と呼ばれている。元叢雲ラボだけありデバイスの物理機構に関して平凡だが的確な処置能力を持ち、主に第1・第3ラボの手伝い、デバイスの調整と修繕、運用テストなどで貢献している。移民計画が本格的に進み始めた頃からは第5ラボの設計と運用にも携わっている。豪胆で世話好きな人物で、同期や後輩が多く集まる場所ではリーダー格ポジションになっていることも多い。特に周囲が錯綜しているときの状況の把握と対策的確さを評価されている。かつて卒業研究D班で班長を務めたばかり、本来は隊長としての適性があるがあまりやりたがっていない様子。ソーサラー能力はそれほど高くはない。

### Special 「叢雲ラボ」



欠番となっている技術部開発課第2ラボ、通称【叢雲ラボ】は、元極東連隊重鎮であり、叢雲潤・九重結(後述)の父親である叢雲鼎中将が室長を務めていたラボトリ。敦賀ラボと共にデバイスの開発と能率化を主な研究内容としており、現在のデバイス研究型ラボの礎とも言える部隊である。ラボトリに所属する人員の中にはこの叢雲ラボ出身の者が少なくない。しかし反宇宙軍組織【バロウス】の2度目の大規模テロに壊滅した。研究内容は現在敦賀ラボに引き継がれている。極東連隊はこの叢雲ラボの功績と重要性を鑑み、第2ラボは現在欠番となっている(おそらく恒久的に欠番となるものと思われる)。



## 八重樫 秋 Aki YAEGASHI

生年月日:2013年2月20日(本編開始時28歳)  
身長:168cm 体重:54kg 血液型:A型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:サーキットランサー

帝都大軍事部2期生。各ラボラトリ間及び民間企業との連携を受け持っている。元々は電脳系統メインのエンジニアだったが、昨今は各ラボラトリに助っ人として呼ばれることが多く、幅広い分野で技術を習得している。本編開始時点では大尉。ラボラトリ所属時から特定の部隊には属せずラボ間の橋渡しとサポートを受け持っている。各ラボでの資料を一括で管理し共有できるように便宜を図っており、現在のラボ群が機構上の共通項目を多く流用できているのも彼女の功績である。冤に角フットワークが良く、というか寧ろフットワークが軽すぎて割と神出鬼没なので肝心な時に捕まらないことがままある。基本的な処理能力を持ったサーキットランサーだが、どちらかといえば脳力の行使の必然性を認めない一般的な情報処理の方が本分である。

## 技術部管理課中隊 Gate Control Company

幻界門の観測と管理を担う。こと第1幻界においては目立たないが重要な役割を持つ。極東連隊管轄下の幻界門は【七領要柱門】。



## 佃 真由美 Mayumi TSUKUDA

生年月日:2013年5月14日(本編開始時27歳)  
身長:166cm 体重:52kg 血液型:B型  
種族:ヒューマン  
ソーサラータイプ:サーキットランサー

帝都大軍事部3期生。卒業後から【七領要柱門】の観測装置のメンテナンスに関わる技術部管理課第2ラボ所属の電脳系エンジニア。本編開始時点では大尉。大学在籍時から第4ラボの常陸このみとは盟友(本人たち談)同志で、現在も公私共々一緒にいることが多い。趣味嗜好は常陸程ではないものの非常に偏っており、常陸や第7ラボの四方田詳子と共に周囲の大半が理解できないような会話を繰り返している(そしてそれは大抵仕事に関係ない)。豪快でギーク気質だが常陸のような変な強引さは無く、立ち居振る舞いは寧ろ常識的。しばしばヒートアップして一般人に理解し難い物言いをしかねない常陸の通訳になっていることがある。また押しが非常に強く、要柱門維持に必要な資材を確保する為の会議にあっては開発部を巻き込んで徹底的な議論に持ち込み、大抵は押し切って勝利している。

### Tips 【七領要柱門】

七領市にある、他幻界と繋がる為の【次元門(ゲート)】。各幻界には幻界同士を繋ぐゲートが存在しているが、魔導暴走や想定外のものの流入・流出が懸念される為、少なくとも第1幻界のそれはごく一部が有資格者と緊急時のみその使用を許可される「半閉鎖実稼働」状態となっており、それ以外は基本閉鎖されている。七領要柱門はその半閉鎖実稼働状態のゲートであり、第1幻界に存在するゲートの中でもトップクラスの規模を持つ。